

池田ロータリークラブ週報

2019年2月6日〈3124例会〉 No.3125

国際ロータリーのテーマ
BE THE INSPIRATION
(インスピレーションになろう)
2660 地区のテーマ
BE THE INSPIRATION
(インスピレーションになろう)
池田ロータリークラブのテーマ
伝統と革新 目指そう
INSPIRED 池田 RC



例会日 毎週水曜日 12:30~13:30
例会場 池田商工会議所 2F
創立 1954年4月24日
事務局 〒563-0025
大阪府池田市城南 1-1-1
池田商工会議所 2F
TEL (072)752-3355
FAX (072)752-7800
ホームページ
<http://www12.plala.or.jp/ikedarc/>
E-mail アドレス
ikedarc@amber.plala.or.jp

2018~2019年度RI会長バリー ラシン RI 第2660地区ガバナー山本 博史 ■会長 井上 裕子 ■副会長 明石 巧
■副会長 豊田 修一 ■幹事 柴田 宜孟 ■副幹事 林 功 ■親睦委員長 南 みどり ■広報・会報担当 永田 大介

会長代理挨拶 豊田 修一副会長

今日は井上会長がお休みなので、私、豊田が代行でご挨拶いたします。

さて、井上会長はいつもロータリークラブ関連のことをお話されるので、私はちょっと違ったこととお話しようと思います。

毎年正月に、今年の世界情勢や未来の技術革新が新聞や雑誌に特集として掲載されますが、私も毎年かなり興味を持って見ております。今年正月の技術革新の目玉はなんと言ってもAI（人工知能）でした。特集記事が圧倒的に多かったように思います。

ただ、私が今回お話ししたいのは、今はまだ余り話題に上りませんが、今後一気に注目株になるであろう「空飛ぶクルマ」のことで、これはドローンを大型化して人が乗れるように改良を加えたものですが、アメリカではすでに試作機が初飛行を始めており、来年には量産が始まるそうです。

代表的な形態は、4人乗りで、垂直に離着陸し、パイロットは不要で、センサーでビルとの衝突を防いだり、自動システムで他の機体と通信しながら衝突を回避するというものです。日本でも、経済産業省が2023年実用化に向けロードマップを描いています。

そこで気になるのが陸上のクルマの自動運転の開発のことで、道路上での自動運転というのは、狭い道路からはみ出さないようにGPSの精度を上げるとか、急な飛び出しへの対策とか、いろいろ難関がありそうですので、ひょっとしたら開発が後手に回り、一気に空飛ぶクルマの開発の方が先行するかもしれません。

来年の東京オリンピックの開会式では、聖火に火を灯すのは「空飛ぶクルマ」ではないとも言われています。ロータリーの例会にも空を飛んで来るといふ会員がそのうち出てくるでしょう。初夢というには極めて現実に近い夢で、今後この「空飛ぶクルマ」から目が離せません。



開会・点鐘
ロータリーソング
シェイクハンド
ゲスト&ビジター紹介
出席報告
会長挨拶
幹事報告
委員会報告
ニコニコBOX
本日の卓話

本日の卓話

「交通白書」

卓話者:暮部光昭会員

❖ 幹事報告 ❖

柴田 宜孟 幹事

(地区より)

- ① 青少年プログラム海外研修実態アンケート
(青少年 RAC 担当北林会員)
- ② 2018-19 年度「ロータリー賞」申請のための
説明会ご案内
(井上会長、柴田幹事、事務局)
- ③ 2月ロータリーレート連絡 (1 \$ =110円)
- ④ 大阪ローターアクトクラブ創立 50 周年
記念式典のご案内
(RAC 担当北林会員)

(池田市美術展運営委員会より)

- ⑤ 後援名義使用についてお願い
(井上会長)

❖ ニコニコ BOX ❖

プログラム担当 北林 寛崇 会員
ニコニコ 担当 永田 大介 会員

- 井上 裕子会長:2月は例会を2回もお休みさせていただきます。申し訳ございませんが、よろしくお願ひ致します。
- 岸上 宏司会員:欠席のお詫び。
- 山口 正之会員:卓話当番です。30分間辛抱してください。
- 林 功会員:早退のお詫び。
- 柴田 宜孟会員:早退のお詫び。
- 名村研二郎会員:欠席が続き、申し訳ございません。本日、準備だけはさせていただきました。
- 北林 寛崇会員:欠席のお詫び。



❖ 出席報告 ❖

出席担当 橋本 昌也 会員

- 会員数 29名
- 出席数 20名
- 出席率 74.07%
- 前々々回 92.59% (1月9日)

メイクアップ

田中 孝史 (1/23 理事会)

❖ 前回の例会 ❖



『 読んでますか、
「ロータリーの友」 』

山口 正之 会員



LIBRA

3 好意と友情を深めるか

東京ロータリークラブが創立した1920年の、日本のロータリーの創設時から、1953年の自発的な「友」誌創刊までのおよそ30年間、国際ロータリー（RI）が発行する「The Rotarian」誌だけが読まれていた時代がありました。その後、「友」誌が1980年にRI公式地域雑誌（現ロータリー地域雑誌）に認定され、読者の日本のロータリアンの思いや希望を乗せ、改良を重ねて現在の「ロータリーの友」が出来上がっています。今、公式雑誌の「The Rotarian」以外に32の地域雑誌が発行されていて、それぞれ発行地域のロータリークラブやロータリアンの活動を紹介するとともに、「The Rotarian」から指定される記事、（RI会長の所信やメッセージ、ロータリー財団管理委員長の談話など）を掲載しています。

「友」誌はロータリー情報を発信しつつ、会員とクラブ、地区、国内はもとより、世界中のロータリアンとつながっているという会員意識の醸成に役立っています。

「友」誌を読むとそれぞれのクラ

4 みんなのためになるかどうか

ブやロータリアンがどんな「奉仕活動」をしているのか参考にできるものが数多く掲載されています。「友」誌の記事をヒントに今後のクラブ活動を考えてみてはどうでしょうか。



2月スケジュール

6	水	3124 例会
9	土	IM ロータリーデー (大阪大淀 RC) 例会外行事
13	水	休会 (祝日週)
20	水	3125 例会
27	水	3126 例会



♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪

われら日本ロータリアンの歌

われら日本のロータリアン
ひとつの仕事をする時も
真心こめてかんがえる
これは誠か真実か

♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪

義捐金BOX

1月23日時点残高	142,036 円
1月30日分	831 円
残高	142,867 円

ポリオプラス基金

1月23日時点残高	20,352 円
1月30日分	738 円
残高	21,090 円

ニコニコ箱の累計

1月30日現在 825,000 円

2月20日(水) 例会

「ガン検査の大切さ」

卓話者：福本 恵美 様
株式会社関西メディカルネット
代表取締役社長

担 当：奥村 昌也 会員